Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトコッカス ヘモリティカス ストレプトキナーゼ

Cat. No. PHAM-261

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ストレプトキナーゼ（SK）は、いくつかの種のストレプトコッカスによって分泌される酵素であり、人間のプラスミノーゲンに結合して活性化することができます。SKは、心筋梗塞（心臓発作）や肺塞栓症のいくつかのケースにおいて、効果的で安価な血栓溶解□として使用されます。ストレプトキナーゼはフィブリノリティクスとして知られる□剤群に属し、ストレプトキナーゼと人間のプラスミノーゲンの複合体は、結合の切断を通じて他の未結合のプラスミノーゲンを加水分解的に活性化し、プラスミンを生成することができます。
用途	ストレプトキナーゼは、虚血性脳卒中の治療において一般的に血栓溶解剤として使用されます。この治療には、重要なリスクとして脳内出血があります。ストレプトキナーゼは、合併症を伴う副肺炎性胸水および膿胸の治療にも使用され、ここでは副作用、アレルギータイプのものは稀です。
別名	ストレプトキナーゼ; SK; EC 3.4.99.0

製品情報

由来	溶血性ストレプトコッカス
外□	外□（色）：要求に適合 オフホワイトからライトイエロー、ライトベージュまで
形態	バイウレットおよびグルタミン酸ナトリウムによる約50%の総タンパク質を含む凍結乾燥粉末。総タンパク質は酵素タンパク質とヒト血清アルブミンで構成されています。
EC番号	EC 3.4.99.0
CAS登□番号	9002-01-1
活性	> 3,500 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、37 °Cで10分間に標準的なフィブリノーゲン、プラスミノーゲン、およびトロンビンの塊を液化します。